

『これからの建築は何を設け備えるべきか』

・・・北海道の環境情報から読み解く・・・

座談会のご案内

日程	2017年11月17日(金)
会場	札幌市立大学サテライトキャンパス (札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階)
時間	16:30 開場・17:00 START
プログラム	17:00～17:10 挨拶・主旨説明 17:10～19:00 プレゼンテーション・座談会

昨年の11月以来、約1年ぶりの開催です。

平日開催を臨む声にお応えして、今回は初めて、金曜日の開催です。

また、ご多忙な皆様に参加いただきやすいよう、札幌駅前の札幌市立大サテライトキャンパスを会場にいたします。

今回も斉藤先生にご参加いただき、活発な意見交換をたく存じます。

弊社の放射冷暖房システムの最新事例紹介もさせていただきます。

近年、大型物件での採用が続き、放射の効果を再評価いただいています。

是非ご参加ください。

「クリマデザイン 新しい環境文化のかたち」
鹿島出版会 2016年6月発行



斉藤雅也先生プロフィール

札幌市立大学 デザイン学部・大学院デザイン研究科・教授 博士(工学)

専門分野：建築環境学(熱環境・光環境・建築環境教育)、熱力学

近年の代表作品：

- ・札幌市円山動物園「は虫類・両生類館」(2011年竣工、建築設計：株式会社アトリエアク)
- ・共働学舎新得農場 都市農村交流施設 カリンパニホール(2015年竣工、建築設計：川人建築設計事務所)
- ・福井オレンジリビングベース(2016年竣工、建築設計：上遠野建築事務所)

「クリマデザイン 新しい環境文化のかたち」は、企画構想の段階で、ピーエスが深く関わらせていただいた書籍です。斉藤先生には「クリマデザインと放射環境」「クリマデザインにみる断熱・蓄熱の効用」の章を執筆いただきました。また、「代謝のリズムをいかにつくるか 円山動物園における両生・爬虫類のための環境づくり」の章では、インタビューにお答えいただきました。

会終了後は、ご参加いただいた皆様との懇親会をご用意しております。

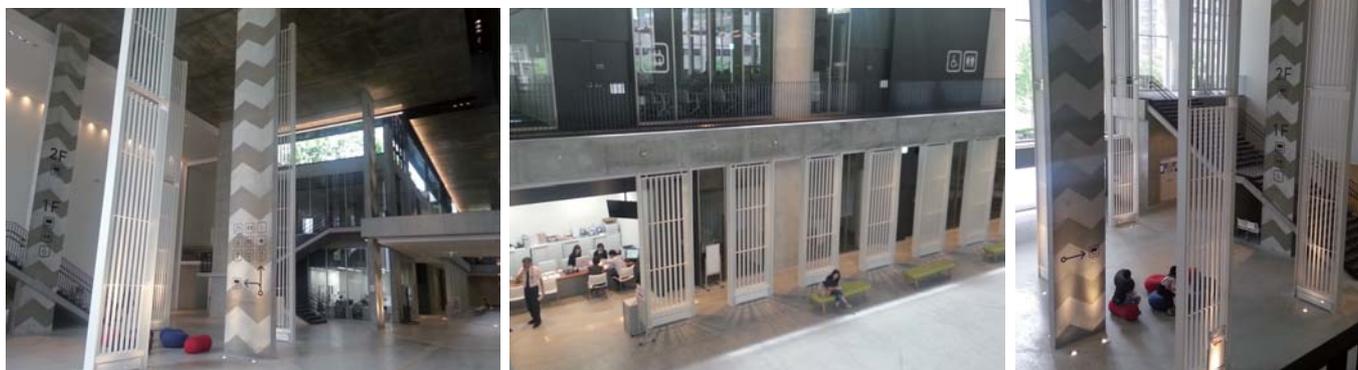
座談会の雰囲気そのままに、一層自由な意見交換ができればと考えておりますので、あわせてご参加ください。

なお、会場準備の関係上、事前に参加申し込みをお願いしております。

お手数ですが、ご都合を弊社担当までお知らせください。よろしく願いいたします。



福岡市香椎の「なみきスクエア」に、PS HR-C が納入されました。
設計を担当して下さった山下設計の安田様の作品解説の一部を、転載させていただきます。



敷地がある福岡市東区は歴史ある街と新しい街をあわせ持つ地域である。香椎宮など歴史ある地域を有する一方で、JR 千早駅・西鉄千早駅の駅前は、JR 操車場跡地の再開発が進行中である。「なみきスクエア」はこの再開発地区の核となる施設である。

建物は4つの施設からなる文化複合施設である。800席のホール、実習室、会議室からなる市民センター、音楽・演劇練習場、市立図書館分館、東区所轄の諸証明発行窓口・多目的ギャラリーである。

私たちはこの東区に計画された複合文化施設「なみきスクエア」を、古くからの住民と新たに集まった住民をつなぐ場所、新たなコミュニティを育む核となる施設と捉え、その実現の為に、目的の有無にかかわらず人々が訪れたいくなるような場所を作り出すことが大切であると考えた。

内と外、そして間をミックスする

そしてそのような場をつくるためには、内と外がミックスした空間「間」にその答えがあると考えた。内（＝建築的な内部環境）、外（＝風・緑・光などの外部環境）、間（＝内と外の間領域）

一般に建築は、外部環境から内部環境を切り離すことで成立している。ここで実現したことは、まず、内と外が混在させること、さらに中間領域とした間を挿入し内と外をつないだことである。「外」の緑があたかも連続して内に存在し、また緑の中に「内」が存在する。木漏れ日・鳥のさえずり・風の音・・・と人工的環境が混ざり合うような「間」をつくりあげること、自由で多くの人に開かれた広場性を獲得したいと考えたのである。

間（＝中間領域）の環境

内と外をつなぐ間は、機械的にコントロールされた空調環境ではなく、結露許容型の輻射パネルを中心とし、地熱利用の外気導入、機能諸室の空調熱のカスケード利用により、外部に開きながら、やわらかい快適性が得られる内と外の間のような環境を実現した。

暑い真夏に緑の茂った公園に入った時に感じる清涼感、それと同じ原理の環境制御としているため、真夏や真冬以外には、街との接点となる出入口を大きく開放することが可能になっている。

間は環境的にも、領域的にも中間の性質を持ち、内と外を混ぜ合わせ、そしてつなぐ役割と果たしている。

(安田俊也 / 山下設計)

結露許容型放射冷暖房
PS HR-C



環境ラウンドテーブル@PS に関するお問い合わせはこちらまで

ピーエス株式会社 北海道支店 担当：安孫子・山田・弘田・安達・木村・平松

TEL: 011-372-7601 FAX: 011-372-8886 www.ps-group.co.jp

当日のお問い合わせ先：090-3018-1526（安孫子）・090-4878-2393（弘田）